第 40 講
清末～中華民国

(1)〔　　〕の(2)〔　　〕年には(3)〔　　〕の乱という反乱が起き，八旗や緑営という正規軍より義勇軍である(4)〔　　〕が鎮圧に活躍した。

清は北方に対しては遊牧世界の盟主として振る舞い，南方に対しては征服王朝でありながら明の中華思想と中国伝統の華夷秩序つまり(5)〔　　〕，地大物博(ちだいぶつはく)であるゆえ対等の貿易を必要としない(6)〔　　〕を継承した。

(7)〔　　〕の河口都市(8)〔　　〕は(9)〔　　〕年に唯一の貿易港とされた。そして広州には(10)〔　　〕＝広東十三行(かんとんじゅうさんこう)という貿易特許商人が置かれた。

(11)〔　　〕年には(12)〔　　〕が熱河(ねっか)で(13)〔　　〕と謁見(えっけん)したが貿易拡大交渉は失敗，(14)〔　　〕年の(15)〔　　〕は三跪九叩頭(さんききゅうこうとう)の礼を拒否したので，(16)〔　　〕に謁見できなかった。それでイギリス東インド会社は(17)〔　　〕を通じ清朝中国にアヘンを売り込んだ。

【アヘン戦争】(18)〔　　〕が個人的にアヘンを嫌っていたこともあり 1839 年に(19)〔　　〕が(20)〔　　〕でアヘンを焼却するとイギリス議会は僅差で開戦を可決し(21)〔　　〕年アヘン戦争が勃発した。時の英外相は(22)〔　　〕だ。

(23)〔　　〕年の(24)〔　　〕では(25)〔　　〕の五港が開港，(26)〔　　〕は廃止，(27)〔　　〕がイギリスに割譲された。その後の五港通商章程(ごこうつうしょうしょうてい)で(28)〔　　〕がイギリスに初めて認められた。1843 年の(29)〔　　〕では片務(へんむ)的最恵国待遇などが追加された。1844 年にはマカオ郊外でアメリカと(30)〔　　〕，同年，広州郊外でフランスと(31)〔　　〕という南京条約とほぼ同様の条約を結んだ。南京条約で開港場に設置された外国人居留者を(32)〔　　〕という。

林則徐の依頼で『海国図志(かいこくずし)』を著したのが(33)〔　　〕でこれは幕末の日本でも読まれた。アヘン戦争での清の敗北は江戸幕府にとっては大事件であったが，朝鮮の王宮は中国ばかり見ていたので，近代化の必要に気付くのに遅れた。

解答

（1）嘉慶帝　（2）1796　（3）白蓮教徒(びゃくれんきょうと)　（4）郷勇(きょうゆう)　（5）冊封体制(さくほう)
（6）朝貢体制　（7）珠江(しゅこう)　（8）広州　（9）1757　（10）公行(こうこう)　（11）1793
（12）マカートニー　（13）乾隆帝　（14）1816　（15）アマースト　（16）嘉慶帝
（17）ジャーディン＝マセソン商会　（18）道光帝　（19）林則徐(りんそくじょ)　（20）広州
（21）1840　（22）パーマストン　（23）1842　（24）南京条約
（25）広州，厦門(アモイ)，福州(ふくしゅう)，寧波(ニンポー)，上海(シャンハイ)　（26）公行　（27）香港島(ほんこん)　（28）領事裁判権(りょうじ)
（29）虎門寨(こもんさい)追加条約　（30）望厦(ぼうか)条約　（31）黄埔(こうほ)条約　（32）租界(そかい)　（33）魏源(ぎげん)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【太平天国の乱】近代中国史上最大の反乱が1851 ～ 1864年の(34)〔　　〕だ。この反乱では4000万人が死んだ。

科挙に失敗した(35)〔　　〕はキリスト教的結社，(36)〔　　〕を結成，上帝とは(37)〔　　〕のことだ。(38)〔　　〕省金田村で挙兵。よそ者という意味の(39)〔　　〕を中心に信者を増やし，スローガンは(40)〔　　〕，弁髪，纏足を禁止し(41)〔　　〕で男女の別なき土地の均分をめざしたが実施はされなかった。一時は南京を占領し，天京と称したが，(42)〔　　〕と(43)〔　　〕に滅ぼされた。漢人有力者の義勇兵である郷勇の代表が，(44)〔　　〕。結果として郷勇は独自に課税し軍隊の維持費用に充てることを清に認めさせ独立軍となった。

外国人部隊の常勝軍の代表が，(45)〔　　〕と(46)〔　　〕**(のちマフディーの乱の時，スーダンのハルトゥームで戦死)**。清の正規軍の八旗と緑営はアヘンで消耗していた。

また，太平天国とほぼ同時期に長江以北を中心に活動した農民反乱軍を(47)〔　　〕という。

【アロー戦争】南京条約後も期待したほど製品の輸出がのびずに一層の市場拡大をめざしていたイギリスは，(48)〔　　〕年に広州停泊中の英船籍のアロー号が海賊容疑で臨検され中国人船員が逮捕されたことを英国旗ユニオンジャックへの侮辱であるとし(49)〔　　〕を起こした。また，フランスもお得意のフランス人宣教師殺害事件を口実に(50)〔　　〕が開戦した。同時期，英仏両国は(51)〔　　〕でも共同歩調をとっている。

(52)〔　　〕年の(53)〔　　〕では**外国公使の北京駐在，アヘン貿易の公認，南京など開港場の増加，キリスト教布教の自由，外国人の中国内地旅行の自由**などが取り決められた。その批准交換の英仏使節が砲撃されたので両国は再び遠征軍を送り，戦闘再開，北京を占領した英仏により1860年，(54)〔　　〕は破壊された。ちなみにこれは乾隆帝時代にイタリア人(55)〔　　〕により設計されたものである。(56)〔　　〕年の(57)〔　　〕ロシアの東シベリア総督は(58)〔　　〕で清とロシアの国境線は(59)〔　　〕となり(60)〔　　〕は両国の共同管理となった。(61)〔　　〕年の(62)〔　　〕では，まず天津条約が批准交換され，(63)〔　　〕の開港，(64)〔　　〕の割譲が追加された。調停したロシアとの(65)〔　　〕で(66)〔　　〕はロシア領となり，のちにロシアは(67)〔　　〕（ロシア語で**東に突撃せよ**）を建設した。

解答

(34) 太平天国の乱　(35) 洪秀全　(36) 上帝会　(37) ヤハウェ　(38) 広西
(39) 客家　(40) 滅満興漢　(41) 天朝田畝制度　(42) 郷勇　(43) 常勝軍
(44) 曾国藩の湘勇，李鴻章の淮勇　(45) アメリカ人ウォード　(46) イギリス人ゴードン
(47) 捻軍　(48) 1856　(49) アロー戦争　(50) ナポレオン３世　(51) クリミア戦争
(52) 1858　(53) 天津条約　(54) 円明園　(55) カスティリオーネ　(56) 1858
(57) アイグン条約　(58) ムラヴィヨフ　(59) アムール川＝黒竜江　(60) 沿海州
(61) 1860　(62) 北京条約　(63) 天津　(64) 九竜半島南部　(65) 北京条約
(66) 沿海州　(67) ウラジヴォストーク

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【洋務運動】1861年に外国との事務を扱う(68)〔　　〕が設置された。イギリスを藩部とみなして理藩院で扱っていたのを改めた結果である。

(69)〔　　〕・(70)〔　　〕・(71)〔　　〕らが「(72)〔　　〕」をスローガンに(73)〔　　〕に着手した。**中国の制度を本体に置き，西洋の軍事技術を用いる**ということだ。

アロー戦争直後の穏やかな時期を(74)〔　　〕という。

1871年に宮古島の島民が台湾に漂着しそこで殺されたことへの征伐(せいばつ)で，日本政府は1874年に(75)〔　　〕を行った。台湾問題が解決した1875年に明治政府は琉球に対して清との冊封関係の廃止を命じ，(76)〔　　〕年に(77)〔　　〕を設置した。

【日清(にっしん)戦争】(78)〔　　〕（東学党(とうがくとう)の乱）を機に朝鮮支配をめぐって日清戦争が起きた。日本は海陸両軍で清を圧倒し，戦後，不平等条約を改正し，帝国主義列強への道を歩む。(79)〔　　〕年の(80)〔　　〕の全権は(81)〔　　〕と(82)〔　　〕。実際のところ日本は李鴻章と戦ったのだ。朝鮮の完全独立つまり清の干渉権放棄と，清には(83)〔　　〕，(84)〔　　〕，(85)〔　　〕の日本への割譲，**開港場での企業設立が承認**された（諸外国にも適用されたので帝国主義列強の進出を招いた）。そして清の国家予算の３倍もの賠償(ばいしょう)金の支払いが課された。

しかし，李鴻章がロシアに接近した結果，(86)〔　　〕が，(87)〔　　〕，(88)〔　　〕をさそって，日本にいわゆる(89)〔　　〕をして**遼東半島は清に返還**させられた。

【変法自強(へんぽうじきょう)運動】日清戦争の影響の一つ目が洋務運動の限界が露呈(ろてい)したこと。敗北の反省から(90)〔　　〕年に考証学に批判的な公羊学派(くようがくは)の(91)〔　　〕や(92)〔　　〕らが中心となって，日本の(93)〔　　〕をモデルに**西欧型の議会政治による立憲政治をめざす**(94)〔　　〕だ。(95)〔　　〕により登用された彼らの戊戌(ぼじゅつ)の変法は，(96)〔　　〕の弾圧，いわゆる(97)〔　　〕で頓挫(とんざ)し百日維新で終わった。

【列強の中国分割】**日清戦争の影響の二つ目が，1898～1899年の中国分割**だ。日本に払うべき賠償金の借款(しゃっかん)供与を列強に求めるも当然返還できないから町や港を租借(そしゃく)させる。(98)〔　　〕をロシアが租借。のちに日本が日露戦争に勝ってからは(99)〔　　〕になる。(100)〔　　〕をドイツ，(101)〔　　〕をフランス，(102)〔　　〕をイギリス，(103)〔　　〕（新界(しんかい)）をイギリスが租借した。

解答

（68）総理各国事務衙門(そうりかっこくじむがもん)　（69）曾国藩　（70）李鴻章　（71）左宗棠(さそうとう)　（72）中体西用(ちゅうたいせいよう)
（73）洋務運動　（74）同治の中興(どうちのちゅうこう)　（75）台湾出兵　（76）1879　（77）沖縄県(おきなわ)
（78）甲午農民戦争(こうごのうみんせんそう)　（79）1895　（80）下関条約(しものせき)　（81）伊藤博文(いとうひろぶみ)　（82）李鴻章
（83）遼東半島(りょうとう)　（84）台湾(たいわん)　（85）澎湖諸島(ほうこ)　（86）ロシア　（87）フランス
（88）ドイツ　（89）三国干渉　（90）1898　（91）康有為(こうゆうい)　（92）梁啓超(りょうけいちょう)
（93）明治維新(めいじいしん)　（94）変法自強運動　（95）光緒帝　（96）西太后　（97）戊戌の政変
（98）旅順・大連(りょじゅん・たいれん)　（99）関東州(かんとう)　（100）膠州湾(こうしゅうわん)　（101）広州湾(こうしゅうわん)　（102）威海衛(いかいえい)
（103）九竜半島

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【義和団事件】(104)〔　　〕を本拠のキリスト教に反感を抱いた白蓮教系の結社が (105)〔　　〕で (106)〔　　〕，(107)〔　　〕をスローガンに (108)〔　　〕((109)〔　　〕年）を起こした。電線・線路・教会など西洋列強が建設したものに攻撃を加えた。背景には，西洋列強が敷いた鉄道により失職した輸送業者たちの憤りがある。また，19 世紀後半には (110)〔　　〕と呼ばれる反キリスト教運動が中国各地で起きていた。(111)〔　　〕という暴力行為も頻発していた。８国が共同出兵し，(112)〔　　〕年の (113)〔　　〕（調印は 11 国）で４億５千万両の賠償金とともに列強の (114)〔　　〕が承認され，**中国の半植民地化が決定**し，中国の新しい時代がはじまった。

【清の改革】20 世紀にはいると清朝も新政（(115)〔　　〕）詔勅を出し体制内の改革を行った。(116)〔　　〕年には (117)〔　　〕を廃止し学校出身者を官吏に登用し，1906 年には西洋式軍隊（(118)〔　　〕）を設置，(119)〔　　〕年には (120)〔　　〕を出し，(121)〔　　〕により，９年後の国会開設を約し，法による支配の方向性を示した。この年，西太后が死去し，宣統帝溥儀が２歳で即位した。(122)〔　　〕年には，(123)〔　　〕が廃止され，責任内閣制度を採用，北洋軍閥の総帥で (124)〔　　〕の後継者である (125)〔　　〕が就任した。

【孫文の革命準備】(126)〔　　〕は (127)〔　　〕年にハワイで客家の秘密結社の (128)〔　　〕を組織した。これに 1904 年に日本に (129)〔　　〕していた学生を中心に結成された (130)〔　　〕（(131)〔　　〕らによる），(132)〔　　〕などの革命諸団体が加わって，日露戦争の勝利に沸く (133)〔　　〕年の東京で (134)〔　　〕を設立し，(135)〔　　〕の独立，(136)〔　　〕の伸長，(137)〔　　〕の安定を目標に (138)〔　　〕を唱えた。蔣介石も日本で参加する。中国から外国勢力を排除する駆除韃虜，漢民族国家を回復する恢復中華，創設民国，平均地権（孫文はマルクス主義の影響を大いに受けている）をスローガンとした。機関誌は (139)〔　　〕。

当時，(140)〔　　〕で富を得た郷紳ら (141)〔　　〕により，列強に奪われた鉄道敷設権や炭鉱採掘権などの (142)〔　　〕が起きていた。

解答

(104) 山東省　(105) 義和団　(106) 扶清滅洋　(107) 除教安民　(108) 義和団事件
(109) 1899 ～ 1901　(110) 仇教運動　(111) 教案　(112) 1901　(113) 北京議定書
(114) 北京駐兵権　(115) 光緒新政　(116) 1905　(117) 科挙　(118) 新軍
(119) 1908　(120) 憲法大綱　(121) 国会開設公約　(122) 1911　(123) 軍機処
(124) 李鴻章　(125) 袁世凱　(126) 孫文　(127) 1894　(128) 興中会　(129) 留学
(130) 光復会　(131) 蔡元培　(132) 華興会　(133) 1905　(134) 中国同盟会
(135) 民族　(136) 民権　(137) 民生　(138) 三民主義　(139) 民報　(140) 紡績業
(141) 民族資本　(142) 利権回収運動

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 40 講　テスト

1　ロシアが新疆を占領し清朝と対立した 1871 ～ 81 年の事件は。

①　イリ事件

②　血の日曜日事件

③　甲申政変

④　ダマンスキー島事件

2　コーカンド＝ハン国出身の軍人で回民（ムスリム）の反乱に乗じて東トルキスタンで政権を樹立した人物と，それを破った清軍の指導者の正しい組み合わせは。

①　ウルグ＝ベク，李鴻章

②　ウルグ＝ベク，左宗棠

③　ヤークーブ＝ベク，李鴻章

④　ヤークーブ＝ベク，左宗棠

3　19 世紀に列強が清から獲得した利権に含まれないものは。

①　鉄道敷設権

②　北京駐兵権

③　鉱山採掘権

④　開港場での企業設立

4　1898 年，日本が清と不割譲条約を結び勢力範囲としたのは。

①　広東省

②　山東省

③　河北省

④　福建省

5　清朝側からの呼称「長髪賊」と関係があるのは。

①　義和団

②　太平天国

③　白蓮教徒

④　ミャオ族

第 40 講　テスト解答

1　①　　2　④　　3　②　　4　④　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。